

労働時間・休日休暇

組合名	労働時間				休日・休暇		備考
	1日		1週		名称	日数	
	拘束	実働	拘束	実働			
朝日	8	7	41.23		週休(公休) (休刊日) 特休(非番) 合計	97 7 104	公休の中に休刊日を含む。
毎日	8.15	7.15	41.15	36.15	週休 休刊日 計	104 0 104	
読売	8	7	40	35	週休 祝日 時短休 計	105 105	調整公休1日分を除いた休刊日の通し明け勤務2日で、有給休暇1日が消化される。
大読	8	7	40	35	週休 休刊日 時短休 計	105 105	
西読	8	7	40	35	週休 休刊日 時短休 計	105 105	
日経	8	7	40	35	週休 祝日 時短休 特別休 計	52 15 31 10 108	①週4時間の時短を年26日の休日に換算 ②東京・大阪西部の輪転は特別休暇(非番)を加えて3勤1休を実施。年間104日 ③2時過ぎの勤務の泊あけは60分短縮 ④5月4日が公休とならない年は、5月4日を特別休暇とする。その場合の当該年のその他の特別休暇は11日とする。
共同 (非裁量職場)	8	7	48	40	週休 祝日 年末年始 特別休 計	69~79 31~54 104~120	
時事	8.5	7.5	42.5	37.5	週休 祝日 年末年始 時短休 計	52 15 5 49 121	①土曜半休の所定労働時間は拘束4(実働3.5)とする ②水産は拘6 外信・写植は拘7時間制 ③年末年始5日のうち3日は休日扱い。5月4日は休日。
東京=中日	8	7	40	35	週休 時短休 計	52 55 107	①2労働年度を超えて与えなかった所定の休日・時短休に対して特別手当を支給。時短休1~14日は1日1,000円、15~24日は1日3,000円、25~34日は1日5,000円、35日以上は177,000円 ②公休出勤手当(振り替えなし)5,000円
日刊工業 (制作)	8 8	7 6.33	40 40	35 31.66	週休 祝日 夏季 年末年始 計	104 14 2 4 124	完全週休2日制(日曜休刊)
北海道	8	7	40	35	週休 祝日 時短休 計	52 15 43~51 110~118	①時短休=印刷・各工場製作、技術部電気担当52
西日本	8	7	40	35	週休 時短休 年間公休 計	72 30~53 6 108~131	①夜勤特休は夜勤職場に8、深々夜勤職場に23
苫小牧	7.4	6.4	46	40	週休 休刊日 祝日 年末年始 夏季 計	52 5 9 3 1 70	①4週5休の90年度実施へ向け検討

組合名	労働時間				休日・休暇		備考
	1日		1週		名称	日数	
	拘束	実働	拘束	実働			
室蘭	8	7	40	35	週休 祝日 年末年始 休刊日 計	72 14 6 6 98	全職場4週6体制。ただし、勤務割の都合上、振替休日、代休の手段をとる
十勝毎日	8	7.25	39.88	39.29	週休 休刊日 祝日 指定休 計	52 1 15 16 84	
釧路 印刷	8.5 7.5	7.5 6.5	51	45	週休 休刊日 時短休 計	78~91	①印刷部を除く職場4週7体制 ②印刷部は4週6体制
東奥 (ローテ)	8 8	7 7	40 40	35 35	週休 祝日(休刊日) 年末年始 夏季 時短休 計	60~70 0~10 48 118	①ローテ職場は休日70日+時短休48日で計118日 ②5月4日は非ローテ職場での休日とする。
陸奥	8	7	48	42	週休 祝日 年末年始 休刊日 夏季 時短休 計	52 13 2 12 2 12 93	①休刊日は6日 発刊する場合は1カ月前に通告、振替休日を与える ②印刷は拘束7時間(実働6時間15分) ③整理、校閲、報道、活版の深夜勤は拘束7時間30分(実働6時間45分) ④社は22時過ぎ拘束7(実働6.45)を提案
デーリー東北 (ローテ) (印刷)	8 7 6	7 6.5 6	40 35 30	35 32.5 30	週休 祝日 休刊日 時短休 計	52 15 50 117	①13~15時出勤は、拘束7時間(食事休憩20分を含む) ②15~17時出勤は拘束6時間30分(実働6時間) ③自主判断休刊日(3日)は発行する場合もあり得る。 ④5月4日は代休を取る
岩手	8	7	48	42	週休 祝日 年末年始 夏季 時短休 計	52 15 5 5 30 107	①年間18日の特別休暇(ローテは月1回1日の休日の他、年6日)出勤の場合、特別手当を支給 ②泊まり明け午後半休 ③週休2日制、夜勤時短を協議中 ④印刷の19時30分以後出勤拘束7時間
秋田魁	8	7	40	35	週休 祝日 休刊日 年末年始 夏季 時短休 計	74 34~42 108~116	①5月4日は休日扱い ②印刷部は時短休42日
山形	8	7	40	40	公休 特別休 計	72 34 106	①14日間の長期休暇制度 ②1カ月単位の変形労働時間制、週40時間以内
河北 ローテ(昼) ローテ(夜)	8 8 7	7 7 6	48	42	週休 祝日 休刊日 年末年始 夏季 時短休 特別休 計	52 11 11 2 3 23 12 114	①印刷・発送の夜勤明けが日曜・祝日に当たった場合1年20限度に自宅待機とする ②夜間の拘束時間短縮(当日勤務で午前0時をこえる人は拘束7時間) ③時短特別有給休暇の分割取得日数の上限 半期6日 年間12日
河北仙販	8	7		38.5	公休 月3回有給休暇 祝日 夏季 年末年始 計	52 36 15 4 4 111	

組合名	労働時間				休日・休暇		備考
	1日		1週		名称	日数	
	拘束	実働	拘束	実働			
福島民友	8	7	40	35	週休 祝日 休刊日 時短休 計	52 15 5 28 100	
茨城	8	7	42	37.75	週休 祝日 休刊日 時短休 年末年始 夏季 計	52 14 (10) 37 3 2 108	①印刷・発送は拘束7時間
全下野 編集・夜勤 制作技術局	9 8 8	8 7 7	45 40 40	40 35 45	週休 祝日 公休 冬期 夏期 時短休 計	40 15 52 5 5 3 120	
下野印刷セン ター	8	7	40	35	週休 祝日 夏冬 時短休 時短休 計	52 23 10 16 24 125	印刷、技術部は3勤1休、各人に1週2日の休日を付与
上毛	8.2	7.2	41	36	公休 計	124 124	
埼玉	7.5	7	37.5	35	週休 時短休 祝日 休刊日 年末年始 夏季 計	52 52 15 4 4 127	
千葉	8	7	40	35	週休 休刊日 年末年始 夏季 祝日 計	92 3 3 15 119	①ローテ週2時間の時短を年11日 ②宿直明けは翌日午前9時退社 ③4カ月に1回で年3日の時短休 ④5月4日は特別休暇とする
神奈川	8	7	48	38.5	週休 祝日 休刊日 推進 年末年始 夏季 計	52 14 9 32 98	①整理・校閲・発送・製作は年休を組み込み3勤1休 ②年2日増でローテ77日、非ローテ87日(1日の実働15分延長による10日を加えて、月2回の休日制へ)を実施
報知	8	7	40	35	週休 祝日 休刊日 時短休 計	72 32 104	
スポニチ	8	7	44	38	週休 祝日 休刊日 特休 計	52 15 12 1~25 80~104	①整理・校閲は特休9日増で4勤1休 ②他は5勤1休
東日印刷	7.16	6.16	37.18		週休 休刊日 指定休 年末年始 夏季 計	82 9 8 3 2 104	運転手・保安は年6日 ①夏季休暇として1日支給。ただし有効期間は6月16日から9月15日まで ②月間(30日)の総労働時間を6時間短縮

組合名	労働時間				休日・休暇		備考
	1日		1週		名称	日数	
	拘束	実働	拘束	実働			
日刊スポーツ	8	7	40	36	週休計	96 96	①1カ月単位の変形労働時間制 ②労基法38条の3第1項に定める業務に従事するJunior層、Senior層、管理職を除くExpert-1・2等級の従業員は裁量労働
ジャパンタイムズ	8	7.15	40	36.15	週休刊日計	104 12 116	週休52日、祝日8日、年末年始4日含む
新聞協会	7.3	6.3	40	34.4	週休祝日休刊日 年末年始計	72 8 8 7 95	①土曜日4休1勤(5回のうち4回休み)を89年度テスト実施
化学工業	8.15	7	41.15	35	週休祝日 年末年始 夏期特別休暇 その他計	104 14 5 5 1 131	①その他はメーカーと創刊記念日
朝日学生	8	7	45	40	週休祝日 年末年始 夏季特別休 特別休計	57 15 0 0 32 104	①夏季特別休暇は7月～9月までの間に取得
日経メディア	8	7	44	38.5	週休祝日 時短休 年末年始計	52 12 26 2 92	①時短休は4週を通じ2日。各職場ごと ②年末年始は特別休暇。1月中に消化
日刊建設通信	8	7	45.3	39.3	週休祝日 夏季 時短休計	52 15 4 6 77	①土曜は15時までとし、拘束3.5(実働2.5)時間の短縮、うち1回は休日(年6日増) ②夏季4日のうち3日は休刊日
日刊建設工業	8	7	40	35	週休祝日計	104 15 119	
新潟 (非ローテ)	8	7	42	36.75	《非ローテ職場》 土曜日曜休日	97	①ローテ職場は拘束7時間、発送の泊まり明けは拘束5時間 ②5月4日は休日
(ローテ)	8	7	43.4	37.8	祝日休暇	14	③非ローテ職場に半日休制度を導入
(印刷・発送)	8	7	37.8	32.9	年末年始 健康休 時短休計	4 4 7 126	④健康休暇は4月～11月の間に4日 ⑤年末年始休暇は12月～3月の間に4日
					《ローテ職場》 週休 休刊日 祝日休暇 年末年始 ローテ休 健康休 時短休計	71 9 14 4 17 4 7 126	
					《印刷発送部》 週休 時短休 休刊日 祝日休暇 年末年始 健康休暇 ローテ休 計	59 7 9 14 4 4 29 126	
信濃毎日	8	7	40	35	週休・制度休 祝日 特別休 時短休 計	52～73 0～15 12 8～26 105	①5月4日の国民の休日は公休

組合名	労働時間				休日・休暇		備考
	1日		1週		名称	日数	
	拘束	実働	拘束	実働			
長野 (日勤) (夜勤) (印刷)	8.5 8.5 8.5	7.5 7.5 7.5	42.5 42.5 42.5	37.5 37.5 37.5	週休 休刊日 祝日 制度休 夏季始 年計	104~112 104~122	①祝日の前日と日曜は拘束7時間 ②制度休は特別休暇 ③その他は寒中2日 ④夏季は7~9月、年末年始は1~3月に消化 ⑤朝刊移行で輪転は5勤1休、写真、編集、製作も89年から5勤1休 ⑥5月4日の国民の休日は祝日扱い
北日本 (印刷) (編集編制)	8 7 7	7 6 6	40 5.1 5.2	35 4.2	週休 祝日休暇 年末年始 夏季 時短休 計	52 15 3 2 39 111	①ローテ職場は拘束7時間制、午前4時までの深夜勤が3日連続の場合の泊まり明けの夕刊勤務は拘束6時間 ②ローテ職場は年間9日で5勤1休、印刷・発送はさらに10日加え4勤1休 ③5月4日特別有給休暇扱い ④リフレッシュ休暇を年1回連続5日間、取得者に手当として30,000円支給
福井 (ローテ)	8 8	7 7	48	41	公休 休刊日 年末年始 夏季 時短休 計	84 22~27 106~111	30歳以上の偶数年齢の社員を対象に年度内休日数の範囲内を基本に5日程度の連続休暇を取得できるリフレッシュ休暇を導入 時短休=日勤22、ローテ27
全中経	8	7	44	38.5	週休 時短休 祝日 年末年始 計	52 26 14 3 95	①時短休26日は有給休暇扱いで各週2日休日を実施(週2時間の時短で年12日を含む)
伊勢	8	7	48	42	週休 祝日 休刊日 年末年始 夏季 計	52 8 5 2 3 74	①印刷職場は拘束7(実働6)時間
京都	8	7	40	35	週休 年末年始 夏季 時短休 計	52 3 4 48 107	①22時過ぎ勤務は拘束7時間制、午後3時以降は6.5時間 ②輪転・発送は他に年24日の非番
京都開発	8	7	40	36.75	週休 祝日 特別休 年末年始 夏季 計	52 14 36 4 5 111	①土曜公休月3回を90年5月から実施
京都企画事業	8	7	40		週休 時短休 年末年始 夏季 計	52 35 4 3 94	
京都折込		7	40		週休 祝日 時短休 計	52 13 36 101	
日刊スポ西日本	8	7	40		週休 計	104 104	休日は各職種ごとに定めるが1カ月に月2回の連休を原則とする。
日刊運輸 (運転手)	8	7 7~ 4.5	40		週休 計	78 78	①運転手の拘束時間は2週間143時間、4週273時間を超えない ②運転手の勤務は5勤1休
奈良 (制作・印刷)	8.5 8	7.5 7	42.5 40	37.5 35	週休 祝日 時短休 年末年始 夏季 計	52 14 24 5 6 101	①印刷は拘束7(実働6)時間 ②整理・写真製版は拘束8(実働7)時間 ③祝日に国民の休日を含む

組合名	労働時間				休日・休暇		備考
	1日		1週		名称	日数	
	拘束	実働	拘束	実働			
神戸デイリー	8	7	40	35	週休 休刊日 年間特別休 メーカー 創立記念日 計	52 12 40 1 1 106	① 時間内就業が午前3時を超える勤務は拘束7時間30分(就業6時間30分) ② 1日について8時間と決めがたい職場は、4週間を平均して1週間につき40時間を所定時間とする。
中国	8	7	39	34	週休 祝日 年末年始 夏季 時短休 計	68 15 4 4 24 115	① ローテ職場は各月8～9日ずつ=107日、夏季4日+年末年始4日=8日 ② 5月4日は基本的に休日 ③ 半日勤務制度。拘束時間4時間(実働3時間半)勤務を2回取得で1日休みとし、時短特休で消化。10日を限度とする。
山陽	8	7	48	42	週休 時短休A 時短休B 特別時短 計	52 24 12 19 107	① 時短休Bは以前12日合った休刊日に対応 ② 特別時短は時給分母の算出根拠にならない時短 ③ 整理など夜間の拘束時間7時間30分 ④ 半日勤制度 支社編集部門と支局勤務者を対象。拘束4時間、2回取得で時短休1日の消化にあてる。
印刷	7	6			週休 時短休A 時短休B 特別時短 交代休 計	52 9 12 19 43 135	
山陰中央	8	7	43	38.5	週休 祝日 時短休 計	78 15 26 119	① 1カ月につき1.5回の週休2日制で年18日 ② 宿直明けは業務に支障のない限り全体 ③ 5月4日は5月3日の振替休日。日曜日に当たらない年は休日とする ④ 印刷は他に非番特別休12日
愛媛	8	7	40	35	週休 リフレッシュ 休刊日 時短休 計	74 2 34 110	① 夜間の拘束時短(22時過ぎ拘束7時間30分、0時過ぎ拘束7時間)年21日の特休 ② 5月4日は時短休暇の消化を
高知	8	7	43	38.5	週休 祝日 年末年始 時短休 制度休 計	52 15 2 13 23 105	① 泊まり明けの早帰り ② 13時すぎ出勤は30分、15時過ぎ出勤は60分の時短 ③ 勤続満15年の社員に5日間の特別休暇を与える(2年間有効) ④ 勤続満25年の社員に7日間の特別休暇を与える(2年間有効)
全徳島 総務・営業・ 販売・事業の 各局 支社	8	7	40	35	公休 年末年始 夏季 計	116 1 4 121	
編集局・論説 委					週休 時短休 年末年始 夏季 計	104 12 105～136 4 121	
整理・システ ム部 印刷	(夜10時以降にかかるとき) 7	6			週休 時短休 休刊日 年末年始 夏季 計	73 38 5 105～136 4 121	4勤1休
写真美術部					週休 時短休 休刊日 年末年始 夏季 計	91 20 5 1 4 121	
四国	8	7	40	35	週休 夏季 年末 誕生日休 計	104 3 3 1 111	① 泊まり明け半休(編集の宿直明けは午前10時) ② 22時以降の拘束7時間30分(実働6時間30分) ③ 5月4日を休日とする ④ 編集局は専門業務型裁量労働制

組合名	労働時間				休日・休暇		備考
	1日		1週		名称	日数	
	拘束	実働	拘束	実働			
高知印刷					公休 年末年始 夏季 計	89 4 2 95	
佐賀	8	7	48	42	週休 祝日 休刊日 夏季 年末年始 時短休 計	52 6 8 3 3 32 104	
長崎 (印刷)	8 7	7 6	40 30	35 26	週休 休刊日 祝日 年末年始 夏季 時短休 計	52 15 4 4 0~37 112~132	①夜間(19時過ぎ)拘束7時間制 ②印刷は非番(年52日)で5勤1休1非番の変則週休2日制 ③制度休=印刷5日
大分合同	8	7	40	35	週休 計	104~121 104~121	①日勤職場は休刊日など含めて5勤2休(年104日) ②ローテ職場は年108日 ③ローテで勤務が午前0時を上回る職場に付加休日4勤2休(明け、公休、日勤、夜勤、夜勤)を基本に2日目の夜勤が午前0時以降にわたる場合、その超勤を年間延べ日数を割り出し(年61サイクル) 午前5時帰り 13日(5時間超)で年121日 整理、校閲も適用 午前3時帰り 8日(3時間超)で年116日
宮崎 (印刷) (準夜勤)	8 8 8	7 7 7	40 35 38	35 30 33	週休 祝日 休刊日 年末年始 計	104~121 15 1 2 122~139	①印刷は4勤1休(週実働35時間下限)年138~139日 ②準夜勤職場121~122日(週33時間下限) ③日勤職場120~121日(週35時間下限) ④県内支社局118日 ⑤週2時間短縮と夏季特休3日は取り崩す ⑥5月4日は休日とし、ローテ職場は別にとる
南日本	8	7	40	35	週休 祝日 年末年始 時短休 休刊日 計	52~59 13 4 52~59 0~7 121~129	①完全週休2日制の実施(89年8月)日勤121日、夜勤含むローテ129日 ②他に夏季休暇5日 ③5月4日は特別休暇 ④夜勤ローテは実働7時間 ⑤別にリフレッシュ休暇5日
南海日日	9 7 6.5 6	8 6.5 6 6	51 40 38 30	48 37 35 30	週休 年末年始 休刊日 時短休 計	50 4 8 12~46 74~106	①20時すぎ夜勤拘束7(実働6)時間 ②印刷は拘束(実働5)時間 ③女子内勤は拘束8時間30分(実働7時間30分) ④整理は拘束8(実働7)時間 ⑤報道など拘束9(実働8)時間
沖縄タイムス	8	7	40.3	35.2	週休 年末年始 夏季 祝日・休刊日 時短休 計	52 3 3 23 32~49 113~130	①20時すぎ夜勤拘束7(実働6)時間 ②印刷発送は夜勤(1週交代)の5勤2休(41日) ③慰霊の日(6月23日)は休日扱い
琉球	8	7	44.5	38.5	週休 休刊日 祝日 年末年始 夏季 時短休 計	52 15 4 3 38 112	①土曜半休で年26日の休日 ②二期連続勤務の明けは1日の休暇で、印刷は2.5勤1休となる(年52日のうち26日は非番) ③発送の夜勤は拘束7時間30分(実働7時間) ④5月4日は社内休日
産経	8	7	48	42	週休 休刊日 5日制休日 計	52 8 19~26 79~86	①5日制(週休2日)以降は70年に中断し、1日につき1200円の出動手当を支払う ②5日制休日は19~26日で発送のみ39日

組合名	労働時間				休日・休暇		備考
	1日		1週		名称	日数	
	拘束	実働	拘束	実働			
福島民報 (印刷)	8 7	7 6	48 42	42 36	週休 祝日 休刊日 年末年始 夏季 特別休 時短休 計	52 13 1 2 2 1 12 97	①印刷・発送は拘束7時間制(実働6時間) ②企画調査除く、事業職場と県外支社で平日勤務を30分延長して、土曜日を14時30分に終わる
山梨日日	8	7	43.3	38.3	週休 祝日 休刊日 年末年始 時短休 計	52 8 8 2 26 96	①印刷は拘束7時間30分 ②土曜半休で年26日
岐阜	8	7	48	42	週休 祝日 休刊日 年末年始 夏季 時短休 計	52 13 4 2 1 12 84	①5勤1休で年9日
道スポ	8	7	48	42	週休 祝日 時短休 計	52 15 39 106	
熊本日日	7	7	48	42	週休 祝日 休刊日 年末年始 制度休 時短休 計	52 8 4 2 13 11 90	①印刷・発送は、夜間拘束7時間
北国 9時過ぎ 13時過ぎ 16時過ぎ 19時過ぎ 22時過ぎ	8 7.3 7.15 7 6.45 6.3	7 6.3 6.15 7 5.45 5.3	48 45 43.3 42 40.5 39	42 39 37.3 36 34.5 33	週休 祝日 休刊日 年末年始 夏季 時短休 計	52 12 8 3 3 26~30 104~108	①年間休日104日を基本に印刷・発送は108日 ②ローテは5勤2休、6勤1休で104~108日、印刷は公休72、特休・制度休22季節休14、その他は公休72、特休制度18季節休14 ③非ローテは拘束8時間(日曜・祝日は7.3)各週2日休日
日本海	9	8	54	38	週休 祝日 休刊日 年末年始 夏季 計	52 5 8 3 3 71	①作業に支障を来さねば夜間拘束8時間を実施してもよい ②週実働48時間については労基署の指導もあり見直しへイ、ローテ職場は拘束8(実働7)時間 ロ、日勤職場は3、6、7、12の4ヶ月間は拘束8.5(実働7.5)時間
八重山			43		週休 祝日 年末年始 夏季 計	52 12 4 4 72	
沖縄建設	8.3	7.3	51	45	週休 祝日 年末年始 夏季 計	52 12 1 3 68	